

■ 本教材のねらい

ゲームを通してライフイベントを実現する喜びを体感し、人生設計の大切さやお金の価値、資産運用の必要性を主体的に理解させることを目的としています

■ 振り返りシート活用の基本方針（共通）

- ・本振り返りシートは、学習者の意思決定プロセスを可視化し、対話を通じて学びを振り返り、考えを深めることを目的としています
- ・正解や優劣を求めるのではなく、判断の過程や結果の違いを尊重し、得られた気づきを今後の選択や行動につなげていくことを重視します

■ 設問ごとの指導ポイント

【1～3】ゲームの結果の確認（共通）

- ・実現したライフイベントやマネーの増減を、事実として整理させる
- ・各年代で得たマネー（収入）は労働の対価であることを認識させる
- ・ゲーム結果を、【4】以降で行う振り返りにつなげるための土台とする

【4】価値観・自己理解への気づき

（中高生版）

- ・ライフイベントに必要な費用への気づきを促す
- ・「意外だったこと」「知らなかったこと」を具体的に言語化させる

（大学生・新社会人版）

- ・自身の意思決定の傾向（慎重・挑戦的・安定志向など）に気づかせる
- ・判断の背景にある価値観（不確実性を避けたい・成長を優先したいなど）を整理させる

【5】投資の選び方と特徴の理解

（中高生版）

- ・投資方法によって、マネーの増減に違いがあったことに気づかせる
- ・株式・投資信託・つみたて投資信託のリスクとリターンを整理させる

（大学生・新社会人版）

- ・投資先を選ぶ際に、何を重視していたか（リスク・期間・分散など）に注目させる
- ・その選び方が、結果にどのような影響を与えたかを整理させる

【6】結果が大きく変化した要因への気づき

（中高生版）

- ・マネーが大きく増えた年代があったかを気づかせる
- ・その背景にあった経済イベントなどに目を向けさせる

（大学生・新社会人版）

- ・思っていた期待と実際の結果を比べ、差が生じた理由を考えさせる
- ・個人の判断だけでなく、経済イベントの影響も要因として整理させる

■ 設問ごとの指導ポイント（続き）

【7】結果の違いと要因の比較

（中高生版）

- ・他グループと比べて、結果に違いがあったことに気づかせる
- ・その違いが生まれた要因を、選択や経済イベントの違いから考えさせる

（大学生・新社会人版）

- ・他者との結果の違いを比較し、その要因を整理させる
- ・マクロ環境と個人の行動の関係を整理させる

【8】次の行動への接続（共通）

- ・ゲームを通じて得た学びや気づきを整理させる
- ・対話を通じて、今後の選択や行動にどう活かそうかを考えさせる

■ 裏面：学びを現実の行動につなげるための設問

- ・正解や優劣を求めず、価値観や考え方の違いを尊重する
- ・抽象的な目標ではなく、具体的な行動イメージを描かせる
- ・発表や共有は任意とし、無理に求めない

■ 対象別活用の留意点

対象	重視する点
中高生	気づき／比較／考え方の多様性
大学生・新社会人	認知／意思決定／行動変容

■ 指導者へのメッセージ

- ・本振り返りシートは、お金に関する意思決定を自ら考える力を育てるための教材です
- ・ゲームの体験や選択を自分ごととして捉え直すことで、金融リテラシーへの関心を高め、講義・授業（座学）への主体的な参加を促すことができます
- ・学習者一人ひとりの考えを尊重し、多様な価値観が存在することを前提に、対話的な振り返りの場づくりを心掛けていただければ幸いです

